

南丹市教育委員会会議録

平成 29 年第 7 回定例会

(平成 29 年 7 月 26 日)

平成29年南丹市教育委員会第7回定例会会議録

1. 日 時 平成29年7月26日(水)
開会 午後3時30分 閉会 午後4時45分
2. 場 所 南丹市役所2号棟 教育委員会会議室
3. 付議事件 別紙議事日程のとおり
4. 招 集 者 委員長 武田 義史
5. 出席委員
委員長 武田 義史
委員長職務代理 高屋 毅史
委 員 吉田 尋子
委 員 城戸 貴子
教育長 森 榮一
6. 欠席委員 な し
7. 事 務 局
教育次長 山内 晴貴
教育参事 後藤 昌則
教育総務課長 中川 勇夫
学校教育課長 山内 紀子
社会教育課長 寺田 成樹
8. 傍 聴 人 な し

日程1 開会

委員長が平成29年南丹市教育委員会第7回定例会の開会を告げる。

日程2 会議録作成者の指名

委員長から会議録作成者に中川教育総務課長を指名する。

日程3 会議録の承認

日程4 報告事項

(1) 主な行事報告等

(教育長)

■ 7月6日、給食運営委員会を開催し、改めて委員14名に委嘱状を交付した。今年度の給食実施に係る事業計画について審議願い、承認を得た。

今年度は、懸案課題となっている市内4共同調理場ごとに異なる給食費単価の統一を図るための審議も求めた。

■ 同日午前中、京都市京北合同庁舎にて「北桑田高校のあり方検討委員会」が開催され、その中で北桑田高等学校長から「北桑田高校活性化構想」というプランが提示された。この校長の活性化案に参加者から多くの賛同の声が寄せられていた。

私からは、南丹市において進めている学校運営協議会の取組を高等学校でも取り入れてはどうかという提案を行った。

■ 7月11日、校園長会議を開催。補正予算で成立した学校業務改善加速事業について、各学校長に教職員自らが主体的によりよい教育を行うための業務改善機運が醸成されるよう求めた。あわせて夏季休業を前にして、校園長に服務規律の確保や、夏季休業中の生徒指導等の充実についても求めた。

■ 7月18日、京都府立淇陽学校における学校教育実施に伴う連絡会議が開催され、市長部局の総務部長とともに出席した。施設からは入所生徒の状況報告や取組、桜が丘中学校からは3月に卒業した14名中12名が全日制の高校に進学したという進路状況の報告が行われた。

■ 7月19日、南丹市伝統的建造物群保存地区保存審議会を美山北集落の会議所で開催した。今年度実施予定の修理建物についての審議と、今年4月教育委員会定例会において議題となった地区内所在の小屋の修理状況報告を踏まえ審議願った。

■ 7月20日、幼稚園・小中学校の終業式が行われた。

■ 7月21日、外国語教育強化地域拠点事業第1回運営指導委員会を開催し、10月31日の3年目の本発表に向けて、いままでとこれからの取組について授業計画に係る審議と指導を願った。今後3年目の成果を次年度以降どうつないでいくかということについても併せて検討することの重要性をご指摘いただいた。

この運営指導委員会については、第2回は発表会当日、第3回は来年2月に開催する予定である。

■ 7月25日、学校現場の業務改善をより具体的に推進するための英知を結集するという観点から、校長会代表、教頭会代表、事務職員研究会代表からなる南丹市学校業務改善加速事業研究会議を開催した。本会議で、南丹市の業務改善ポリシー等について検討し、まとめたものを市内全体の学校現場に広めていくことを確認した。

今後、具体的な取り組みを着実に進めていくため、意欲的な意見が各委員から出された。

(2) 所管事務事業調査について

(事務局)

資料に基づき報告。

(3) 南丹市教育委員会の後援承諾について

(事務局)

資料に基づき報告。

(高屋職務代理)

こども食堂「な釜」について、どれ位の頻度で活動を行っているのか。また対象は南丹市の子どもであるのか。

(事務局)

提出資料によれば、食堂をコミュニティの場として、毎月1回程度の活動が、また夏休み期間には宿題や自由研究を行う場として、4回開催する等の活動が計画されている。なお、対象は規定はないが主に南丹市の子どもと伺っている。

日程5 議事

議案第17号 南丹市立中学生英語検定料補助金交付要綱の一部改正について

(事務局)

上記報告について、別紙資料により説明。

(吉田委員)

申請書の様式には5、4、3級と記載があるが、その上の準2級からは補助金は出ないのか。また第2回のみを対象としているのはなぜか。

(事務局)

新学習指導要領において、中3卒業時点で3級が基準となっており、計画的に学習を積んでいく目標を持っているので準2級は対応外としている。

また、この補助制度は1人当たり年1回の対象としているが、第2回目の時期は学校の指導の成果がでると考えられることや、各学校における事務処理上及び、予算上の事務的な制約もあることから、結果的に補助金は第2回目のみを対象としている。

[採決]

議案第17号について委員長から委員一人一人に諮り、全員一致で承認する。

日程6 その他

- (1) 前期学校等訪問について意見交換と後期日程について
- (2) 学校現場における業務改善に係る取組について
- (3) 各要望について
- (4) 外国語教育強化地域拠点事業における第1回運営指導委員会について
- (5) 郷土資料館・文化博物館企画展、展示会について

(事務局) 資料により説明。

[次回定例会について]

(委員長)

今後の日程について8月21日(月)午前10時30分から開催としたいかどうか。

(委員)

委員長から各委員一人一人に諮り、全員一致で同意する。

(午後4時45分閉会)

南丹市教育委員会会議規則第19条第2項の規定により、ここに署名する。

平成 年 月 日

南 丹 市 教 育 委 員 会 委 員 長

南丹市教育委員会委員長職務代理者

南 丹 市 教 育 委 員 会 委 員

南 丹 市 教 育 委 員 会 委 員

南 丹 市 教 育 委 員 会 教 育 長

(会議録調製者)

南 丹 市 教 育 委 員 会 教 育 次 長